

製品名: ACE2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06484**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	ACE2
別名	ACE2; Angiotensin-converting enzyme 2; ACE-related carboxypeptidase; Angiotensin-converting enzyme homolog; ACEH; Metalloprotease MPROT15
遺伝子 ID	59272.0
SwissProt ID	Q9BYF1
免疫原	抗血清はヒト ACE2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 416-465

背景

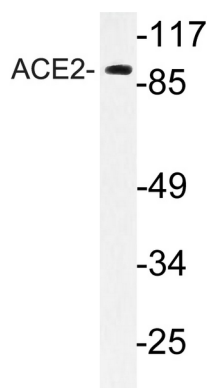
アンジオテンシン I 変換酵素 2 (ACE2) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジペプチジルカルボキシ

ジペプチダーゼのアンジオテンシン変換酵素ファミリーに属し、ヒトアンジオテンシン I 変換酵素と高い相同性を有する。この分泌タンパク質は、アンジオテンシン I をアンジオテンシン 1-9 に、そしてアンジオテンシン II を血管拡張因子であるアンジオテンシン 1-7 に分解する触媒作用を持つ。この遺伝子の臓器および細胞特異的な発現は、心血管機能および腎機能、ならびに生殖能力の調節に関与している可能性を示唆している。さらに、コードされるタンパク質は、ヒトコロナウイルス SARS および HCoV-NL63 のスパイク糖タンパク質の機能的受容体である。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月], 補因子: サブユニットあたり 1 つの塩化物イオンと結合します。 , 補因子: サブユニットあたり 1 つの亜鉛イオンと結合します。 , 酵素調節: 塩化物およびフッ化物によって活性化されますが、臭化物には活性化されません。 MLN-4760、cFP_Leu、および EDTA によって阻害されますが、ACE 阻害剤であるリノシプリル、カプトプリル、およびエナラプリラートによって阻害されません。 , 機能: カルボキシペプチダーゼ。この酵素は、アンジオテンシン I を機能不明のペプチドであるアンジオテンシン 1-9 に、またアンジオテンシン II を血管拡張剤であるアンジオテンシン 1-7 に変換します。 また、アペリン 13 およびダイノルフィン 13 を高効率で加水分解します。心臓機能の重要な調節因子である可能性があります。ヒトコロナウイルス SARS および HCoV-NL63 感染の場合、両コロナウイルスのスパイク糖タンパク質の機能受容体として機能する。 , 誘導: 心不全においてアップレギュレーションされる。 , PTM: Asn-90 の N-グリコシル化は SARS の感染性を制限する可能性がある。 , 類似性: ペプチダーゼ M2 ファミリーに属する。 , サブユニット: ITGB1 と相互作用する。 SARS-CoV および HCoV-NL63 スパイク糖タンパク質と相互作用する。 , 組織特異性: 小動脈および大動脈の内皮細胞、および動脈平滑筋細胞に発現する。肺胞上皮細胞、小腸の腸管上皮細胞、ライディッヒ細胞、セルトリ細胞 (タンパク質レベル) に発現する。心臓、腎臓、精巣、および消化器系に発現する。 ,

研究分野

レニン-アンジオテンシン系;

画像データ



ACE2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウエスタン プロット分析。